



講師

東京医科歯科大学大学院医学総合研究科
生体補綴歯科学分野助教

和田 淳一郎 先生

支台歯保護の観点から紐解く パーシャルデンチャーの 治療戦略

◎日時：令和5年5月15日（月）19：30～21：00

◎会場：東京医科歯科大学 1号館9階 特別講堂

〈講演抄録〉

歯周治療後、最終補綴装置の製作にあたり、歯周組織が弱体化した残存歯の保存可否の判断に苦慮することは少なくありません。特にパーシャルデンチャーは、設計を工夫することで、義歯装着後の残存歯の抜歯に対応することが可能であるため、事前の抜歯基準が曖昧になることもしばしばです。多くの疫学調査において、歯周炎に罹患したパーシャルデンチャーの支台歯の生存率は健全な支台歯と比較して低い傾向にある一方で、支台歯として長期的に維持される歯周炎罹患歯も存在します。本講演では、パーシャルデンチャーの設計概念を「支台歯保護」の観点から紐解き、歯周炎罹患歯を支台歯とする際の義歯設計におけるポイントを明らかにするとともに、設計以外に配慮すべき要素についても掘り下げ、支台歯保護と機能回復を両立するパーシャルデンチャーの治療戦略について考えたいと思います。

〈講師略歴〉

- 2006年 東京医科歯科大学卒業 同大学部分床義歯補綴学分野入局
- 2011年 大学院修了 同大学義歯外来医員
- 2013年 同大学部分床義歯補綴学分野助教
- 2021年 同大学生体補綴歯科学分野助教
- 2022年 トゥルク大学（フィンランド）歯学部生体材料科学分野客員研究員
- 2023年 東京医科歯科大学生体補綴歯科学分野助教

■ ご参加希望の先生は、右記QRコードよりお申し込みください。

（参加費無料 定員80名 申込先着順）

「当日はメールで送信する受講票をスマホ画面または印刷の上、ご提示ください」

申込締切
5/10水

※政府の方針などにより、延期とさせていただく場合がございます。ご了承のほどお願い申し上げます。